

- 1 商品の価格が上がったときに、生産者がより多く販売しようとする数量のことを何という？
- 2 市場において、価格の動きによって需要量と供給量が調整され、資源が最適に配分される仕組みを何という？
- 3 消費者トラブルの解決に向けた政策立案や相談支援など、消費者の権利を守るために設置された中央行政機関を何という？
- 4 一社が市場を支配し、消費者に不利な価格設定を行う状態を何という？
- 5 製造物責任法において、消費者が製品の欠陥による被害を受けた際に、製造者の何があなくても損害賠償を請求できるようにしたか？
- 6 訪問販売で契約した際、クーリングオフの手続きが認められている期間は何日間以内と決まっている？
- 7 市場において、買い手が買いたい量と売り手が売りたい量が一致したときに決まる価格を何という？
- 8 独占禁止法に基づき、企業の合併やカルテルなどの動きを監視する行政機関を何という？
- 9 複数の企業が話し合って製品の価格を決めたり、販売する量を調整したりして競争を避ける行為を何という？
- 10 有力な企業が価格の先導役となり、他社がその価格に追随する現象を何という？
- 11 消費者の利益を守り、その自立を支援することを目的として制定された法律を何という？
- 12 寡占市場において、企業間で価格競争が起きにくく、一度決まった価格が下がりにくくなる現象を何という？
- 13 独占企業の存在や公共財の供給などにより、市場経済の機能が十分にはたらない状態を何という？
- 14 訪問販売などで契約した後、一定期間内であれば無条件で契約を解除できる制度を何という？
- 15 クーリングオフ制度の対象となる、電話を使って消費者を勧誘し、契約を取り付ける販売形態を何という？
- 16 企業間の公正で自由な競争を守るために制定された法律を何という？
- 17 価格と、生産者が販売しようとする数量との関係をグラフ上に示した線を何という？
- 18 商品の価格が変化したとき、それに応じて消費者が実際に買おうとする数量が増減することを何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	供給量 とは、ある価格において売り手が販売したいと考える商品の量のことです。		供給量	☐
2	価格の自動調節機能 とは、品不足のときは価格が上がり、売れ残りのときは価格が下がることで、自然と需要と供給がバランスする仕組みです。		価格の自動調節機能	☐
3	消費者庁 は、消費者の安全や安心を確保するための政策を総合的に推進する機関です。		消費者庁	☐
4	独占 とは、一つの企業だけが市場を占め、支配する力を持つことをいいます。		独占	☐
5	製造物責任法（PL法）では、製品に欠陥があることさえ証明できれば、製造者のミス（ 過失 ）を立証しなくても損害賠償を請求できます。		過失	☐
6	この 8日間 という期間は、消費者が契約内容を冷静に検討し、専門機関へ相談するために必要な最小限の時間を考慮して設定されています。		8日間	☐
7	均衡価格 とは、需要量と供給量がちょうど一致するポイントで決まる価格のことです。		均衡価格	☐
8	公正取引委員会 は、独占禁止法の番人として、企業による談合やカルテル、不当な取引制限などを調査・処罰します。		公正取引委員会	☐
9	カルテル とは、本来ライバルである企業同士が直接話し合い、価格を高く保ったり、生産量に制限を設けたりする行為です。		カルテル	☐
10	プライス・リーダーシップ とは、市場で特に影響力の強い企業が価格を決定し、他の企業がその価格を基準に追随する現象です。		プライス・リーダーシップ	☐
11	消費者基本法 は、消費者の利益を守るための最も基本的なルールを定めた法律です。		消費者基本法	☐
12	価格の硬直性 とは、需要が変化しても価格が適正な水準まで下がらない状態を指します。		価格の硬直性	☐
13	市場の失敗 とは、独占企業による価格操作や、公園や道路のような公共財が供給されないなど、市場メカニズムだけでは解決できない問題が生じる状態です。		市場の失敗	☐
14	クーリングオフ は「頭を冷やす」という意味があります。		クーリングオフ	☐
15	電話勧誘販売 は、特定商取引法という法律で厳しく規制されています。		電話勧誘販売	☐
16	独占禁止法 は、企業が不当に結託したり、独占的な地位を悪用して消費者に不利益を与えたりすることを禁止する法律です。		独占禁止法	☐
17	供給曲線 は、縦軸に価格、横軸に供給量をとったグラフ上に描かれます。		供給曲線	☐
18	需要量 は、特定の価格が提示されたときに、消費者が実際に買おうとする商品の量のことです。		需要量	☐

言えなかった用語ノート